①　建物耐震診断等概要表

1．建物概要	
申込み件名	1．耐震診断　2．耐震補強計画　(3) 総合判定（耐震診断・耐震補強計画）
施設設置者（申込者）	京都市　（　　）
施設名、棟名（棟番号）	西野山市営住宅8棟
所在地	〒607－8231　京都市山科区勧修寺堂田１３番地１
区分、面積（対象面積）	校舎、屋体、寄宿、(その他)（　共同住宅　）、　2,206.25 ㎡（　2,206.25 ㎡）
建築年月、構造、階数	昭和４３年　、　鉄筋コンクリート造　、　地上５階建
基礎、地盤条件	杭基礎（　GL－9.30m～10.30m　，　支持力不明　）
構造上の特徴	平面（ほぼ整形）、不整形）、立面（ほぼ整形）、不整形） 構造形式（けた行(X)：ラーメン架構　、　はり間(Y)：耐震壁付ラーメン架構　） 極脆性柱（有、(無)　、下階壁抜（有、(無)　、平面柱抜（有、(無)　、ＰＣａ屋根（有、(無)

2．診断方法	
診断法（計算法）	(第２次診断)、第３次診断、屋体診断基準、応答解析、その他　（手計算、(電算機)
電算ソフト（作成者）	DOC-RC/SRC Ver.7 、(株)構造システム　日本建築防災協会評価(P評価11－改1－RC)
診断実施者（資格）	㈱三宅建築事務所　三宅晃郎　（一級建築士登録番号：第308903号）　受講番号：第01-14189号
連絡先住所（TEL/FAX）	〒606-8386　京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37-6　(TEL 075-761-6025 / FAX 075-751-0222)
診断実施年月	平成24年　6月　～　平成24年１０月
材料調査（診断使用値）	ｺﾝｸﾘｰﾄ 調査(有)　無（Fc＝ 20.9(1F)，17.9(2F)，17.6(3F)，19.4(4F)，21.6(5F)　N／mm²） 鉄筋　調査 有，(無)（σy＝ 294 N／mm²）　、　鉄骨　調査 有，無（σy＝　　N／mm²）

3．診断結果　（Is2またはIs3、qまたはqStを＊欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	補強前				補強後			
	Isx	q*	Isy	q*	Isx	q*	Isy	q*
5F	0.92	1.14	2.82	10.45	0.89	1.09	2.70	10.02
4F	0.50	1.88	1.52	5.65	0.73	2.71	1.39	5.15
3F	0.37	1.40	1.13	4.22	0.63	1.97	1.00	3.72
2F	0.29	1.10	0.94	3.49	0.63	2.36	0.80	3.00
1F	0.41	1.52	0.95	3.55	0.68	2.54	0.81	3.02
最小値	0.29	1.10	0.94	3.49	0.63	1.09	0.80	3.00

（調査および診断に関する所見）
目標値：Iso-0.60、q-1.00、CTU・SD-0.30

けた行(X)方向：５階は、全ての部材が曲げ破壊となり、耐力・靭性値とも高く、所要の耐震性能を満足している。４～２階は、曲げ破壊となる部材が過半であるが、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。１階は、せん断破壊となる部材が多く、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。
はり間(Y)方向：各階とも、耐震要素となる壁の耐力が大きく、所要の耐震性能を満足している。

4．補強計画　（補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他
5F												
4F												3
3F												5
2F												7
1F												7
合　計												22

（補強に関する所見）
目標値：Iso=0.60、q=1.00、CTU・SD=0.30

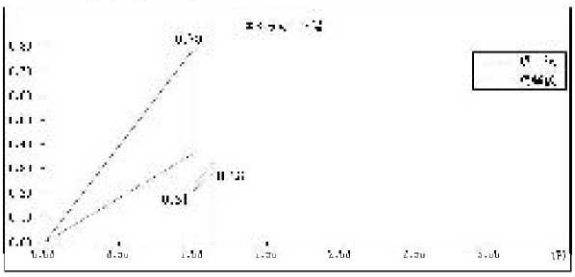
けた行(X)方向：ＰＣａ外フレーム工法増設により、保有水平耐力が向上し、所要の耐震性能を満足することができた。

はり間(Y)方向：けた行(X)方向の耐震補強による建物重量増大の影響も少なく、所要の耐震性能を維持している。

5．付図Ⅰ　（補強前後の代表階の①Ｃ－Ｆ関係、主要Ｃ値（ＲＣ造）、または、②ｑＳｔ－Ｆ値（Ｓ造）を下図に記入）

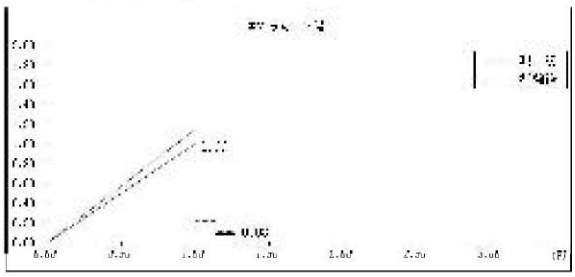
X方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



Y方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



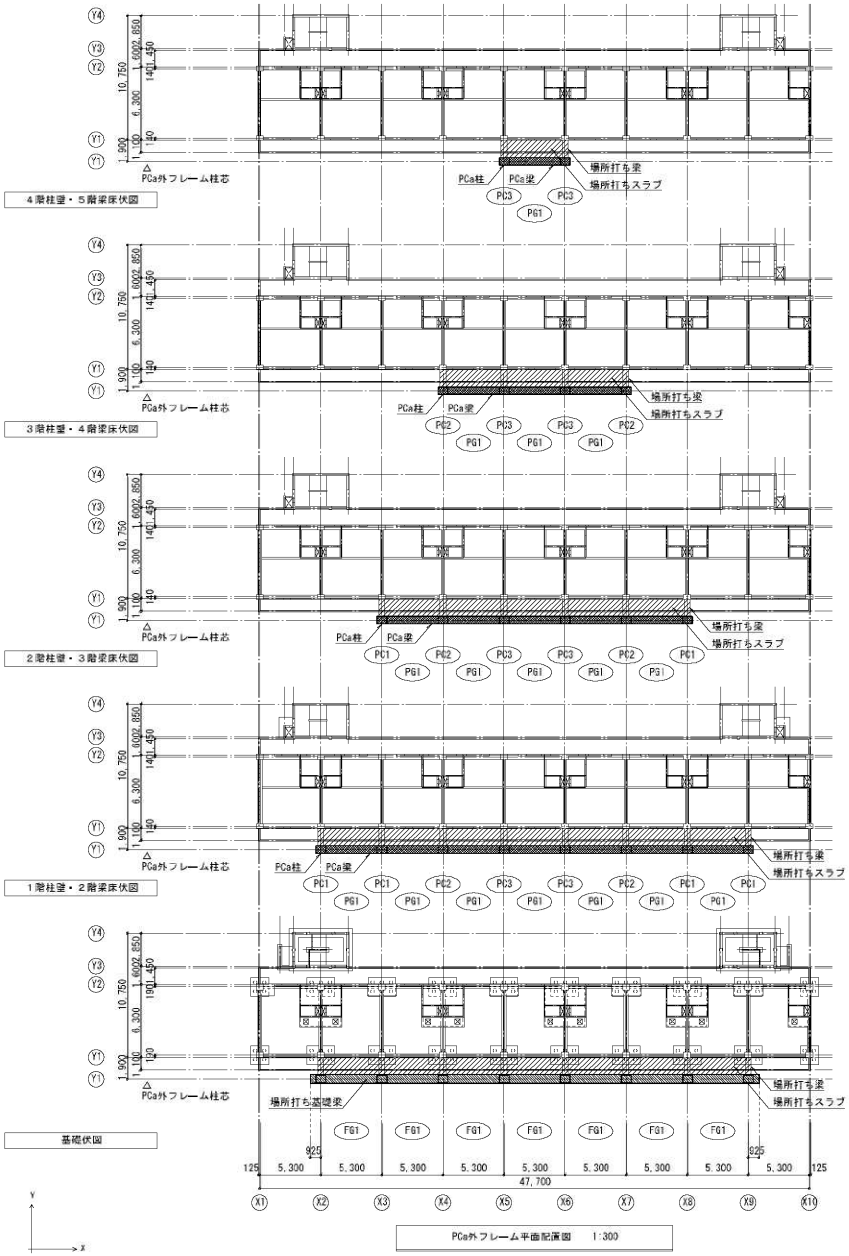
6．事務局使用欄

受付番号		受付年月日	
交付番号		交付年月日	

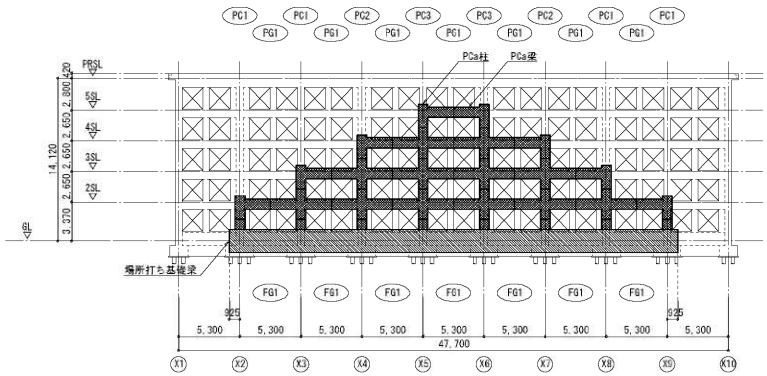
京都市西野山市営住宅9号棟

No.

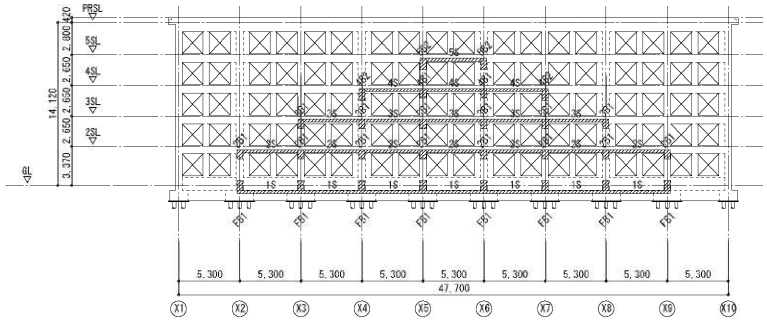
ＰＣａ外フレーム平面配置図・軸組図



PCa外フレーム平面配置図　1:300



PCa外フレームY1'通側軸組配置図　1:300



新段スラブ・基・直交梁Y1通側軸組配置図　1:300

プレストレストコンクリート特記事項

1．コンクリート			
位　置	PCa部材	場所打ち部	目地部
設計基準強度	50 N/mm²	24 N/mm²	50 N/mm²
プレ導入時強度	36 N/mm²	20 N/mm²	20 N/mm²

2．PC鋼材		
位　置	PCa梁	PCa柱
使用鋼材	3-SWPR7BL φ15.2	SBPR1080/1230 φ32
施工緊張力	533 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	692 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
導入時許容緊張力	566 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	738 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
緊張方向	片引きとする	柱筋からの 片引き
備　考	－	－

9棟耐震改修計画案

①　建物耐震診断等概要表

1．建物概要	
申込み件名	1．耐震診断　2．耐震補強計画　(3.) 総合判定（耐震診断・耐震補強計画）
施設設置者（申込者）	京都市　（　　）
施設名、棟名（棟番号）	西野山市営住宅９棟
所在地	〒607－8231　京都市山科区勧修寺堂田１３番地１
区分、面積（対象面積）	校舎、屋体、寄宿、(その他)（　共同住宅　）、　2,206.25 ㎡（　2,206.25 ㎡）
建築年月、構造、階数	昭和４３年　、　鉄筋コンクリート造　、　地上５階建
基礎、地盤条件	杭基礎（　GL－9.30m～10.30m　，　支持力不明　）
構造上の特徴	平面（ほぼ整形）、不整形）、立面（ほぼ整形）、不整形） 構造形式（けた行(X)：ラーメン架構　、　はり間(Y)：耐震壁付ラーメン架構　） 極脆性柱（有、(無)　、下階壁抜（有、(無)　、平面柱抜（有、(無)　、ＰＣａ屋根（有、(無)

2．診断方法	
診断法（計算法）	(第２次診断)、第３次診断、屋体診断基準、応答解析、その他　（手計算、(電算機)
電算ソフト（作成者）	DOC-RC/SRC Ver.7　、(株)構造システム　日本建築防災協会評価(P評価11－改1－RC)
診断実施者（資格）	㈱三宅建築事務所　三宅晃郎　（一級建築士登録番号：第308903号）　受講番号：第01-14189号
連絡先住所（TEL/FAX）	〒606-8386　京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37-6　(TEL 075-761-6025 / FAX 075-751-0222)
診断実施年月	平成24年　6月　～　平成24年１０月
材料調査（診断使用値）	ｺﾝｸﾘｰﾄ　調査(有)　無（Fc＝ 22.5(1F)，22.5(2F)，22.5(3F)，22.5(4F)，22.5(5F)　N／mm²） 鉄筋　調査 有，(無)（σy＝ 294 N／mm²）　、　鉄骨　調査 有，無（σy＝　　N／mm²）

3．診断結果　（Is2またはIs3、qまたはqStを＊欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	補強前				補強後			
	Isx	q*	Isy	q*	Isx	q*	Isy	q*
5F	0.93	1.14	2.86	10.61	0.90	1.11	2.77	10.28
4F	0.52	1.95	1.61	5.97	0.63	2.36	1.52	5.66
3F	0.40	1.50	1.24	4.59	0.62	2.33	1.14	4.24
2F	0.33	1.02	0.98	3.67	0.64	2.07	0.89	3.32
1F	0.42	1.56	0.97	3.63	0.71	2.65	0.86	3.21
最小値	0.33	1.02	0.97	3.63	0.62	1.11	0.86	3.21

（調査および診断に関する所見）
目標値：Iso-0.60、q-1.00、CTU・SD-0.30

けた行(X)方向：５階は、全ての部材が曲げ破壊となり、耐力・靭性値とも高く、所要の耐震性能を満足している。４～２階は、曲げ破壊となる部材が過半であるが、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。１階は、せん断破壊となる部材が多く、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。
はり間(Y)方向：各階とも、耐震要素となる壁の耐力が大きく、所要の耐震性能を満足している。

4．補強計画　（補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他
5F												
4F												1
3F												3
2F												5
1F												7
合　計												16

（補強に関する所見）
目標値：Iso=0.60、q=1.00、CTU・SD=0.30

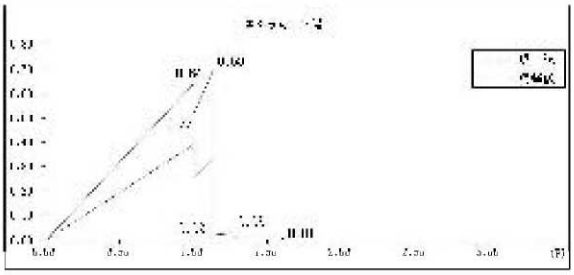
けた行(X)方向：ＰＣａ外フレーム工法増設により、保有水平耐力が向上し、所要の耐震性能を満足することができた。

はり間(Y)方向：けた行(X)方向の耐震補強による建物重量増大の影響も少なく、所要の耐震性能を維持している。

5．付図Ⅰ　（補強前後の代表階の①Ｃ－Ｆ関係、主要Ｃ値（ＲＣ造）、または、②ｑＳｔ－Ｆ値（Ｓ造）を下図に記入）

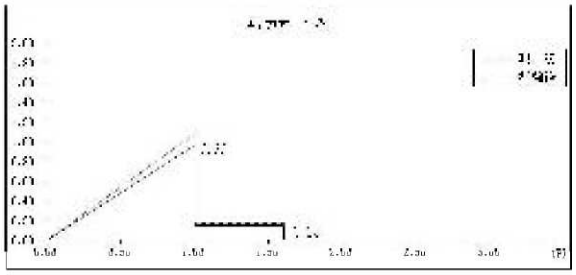
X方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



Y方向［　1　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



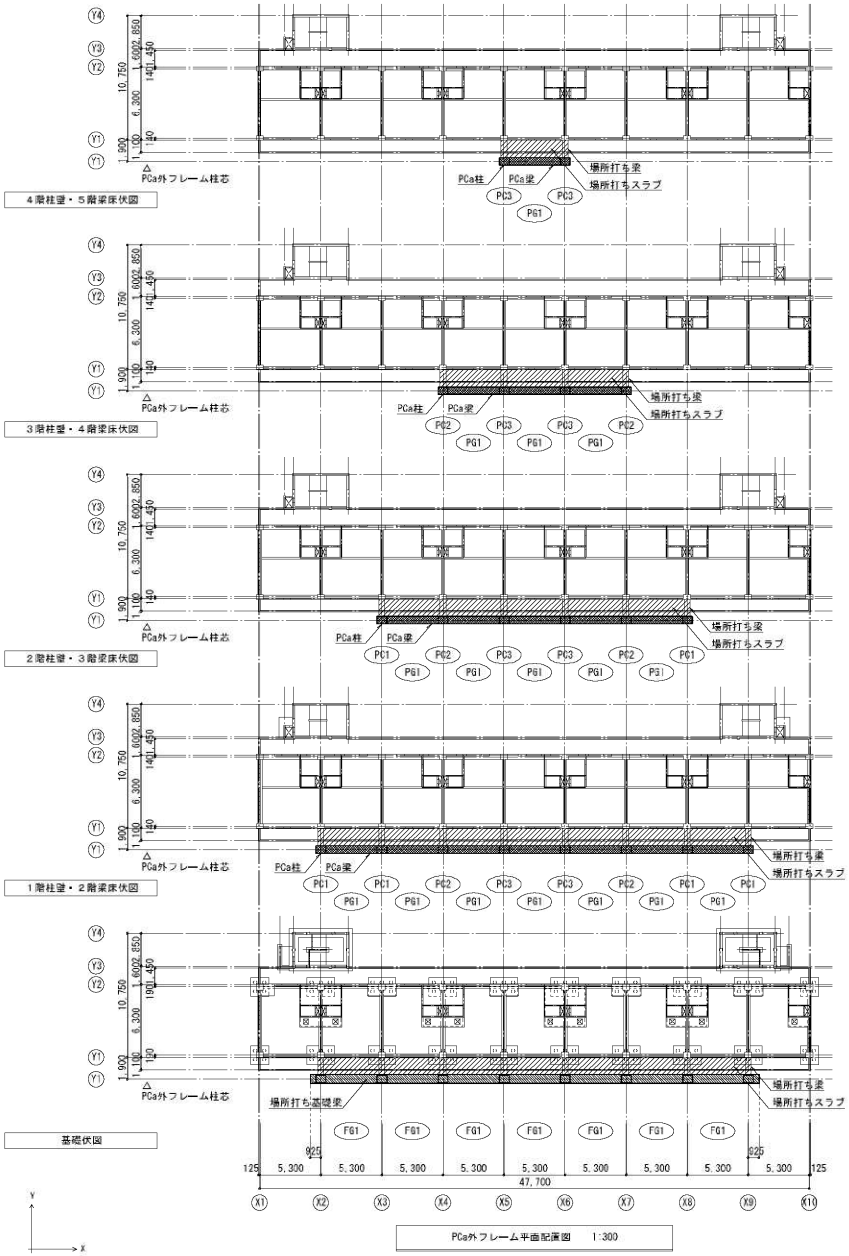
6．事務局使用欄

受付番号		受付年月日	
交付番号		交付年月日	

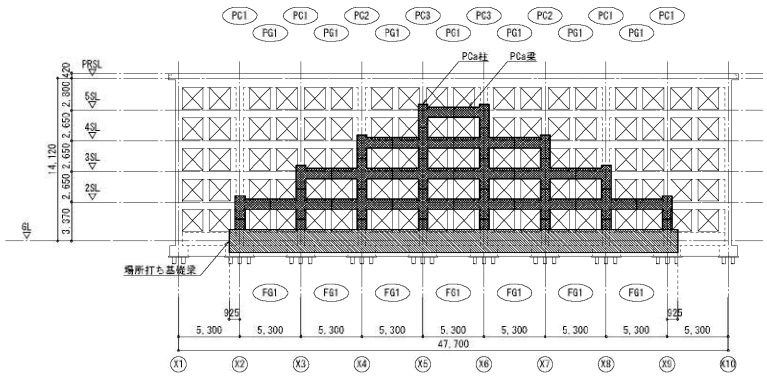
京都市西野山市営住宅10号棟

No.

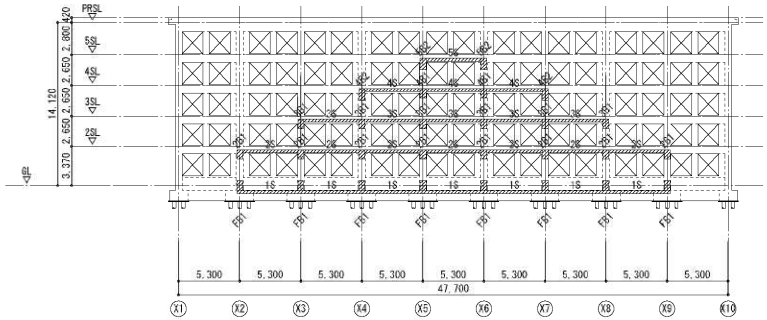
ＰＣａ外フレーム平面配置図・軸組図



PCa外フレーム平面配置図　1:300



PCa外フレームY1'通側軸組配置図　1:300



新投スラブ・壁・直交梁Y1通側軸組配置図　1:300

プレストレストコンクリート特記事項

1．コンクリート			
位　置	PCa部材	場所打ち部	目地部
設計基準強度	50 N/mm²	24 N/mm²	50 N/mm²
プレ導入時強度	36 N/mm²	20 N/mm²	20 N/mm²

2．PC鋼材		
位　置	PCa梁	PCa柱
使用鋼材	3-SWPR7BL φ15.2	SBPR1080/1230 φ32
施工緊張力	533 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	692 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
導入時許容緊張力	566 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	738 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
緊張方向	片引きとする	柱既からの 片引き
備　考	―	―

10棟耐震改修計画案

①　建物耐震診断等概要表

1．建物概要	
申込み件名	1．耐震診断　2．耐震補強計画　(3) 総合判定（耐震診断・耐震補強計画）
施設設置者（申込者）	京都市　（　　）
施設名、棟名（棟番号）	西野山市営住宅１０棟
所在地	〒607－8231　京都市山科区勧修寺堂田１３番地１
区分、面積（対象面積）	校舎、屋体、寄宿、(その他)（　共同住宅　）、　2,206.25 ㎡（　2,206.25 ㎡）
建築年月、構造、階数	昭和４３年　、　鉄筋コンクリート造　、　地上５階建
基礎、地盤条件	杭基礎（　GL－10.30m～11.30m　，　支持力不明　）
構造上の特徴	平面（ほぼ整形）不整形）、立面（ほぼ整形）不整形） 構造形式（けた行(X)：ラーメン架構　、　はり間(Y)：耐震壁付ラーメン架構　） 極脆性柱（有、(無)　、下階壁抜（有、(無)　、平面柱抜（有、(無)、ＰＣａ屋根（有、(無)

2．診断方法	
診断法（計算法）	(第２次診断)　第３次診断、屋体診断基準、応答解析、その他　（手計算、(電算機)
電算ソフト（作成者）	DOC-RC/SRC Ver.7　、(株)構造システム　日本建築防災協会評価(P評価11－改1－RC)
診断実施者（資格）	㈱三宅建築事務所　三宅晃郎　（一級建築士登録番号：第308903号）　受講番号：第01-14189号
連絡先住所（TEL/FAX）	〒606-8386　京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37-6　(TEL 075-761-6025 / FAX 075-751-0222)
診断実施年月	平成24年　6月　～　平成24年１０月
材料調査（診断使用値）	ｺﾝｸﾘｰﾄ　調査(有)　無（Fc＝ 18.9(1F)，18.5(2F)，20.2(3F)，21.1(4F)，22.5(5F)　N／mm²） 鉄筋　調査 有，(無)（σy＝ 294 N／mm²）　、　鉄骨　調査 有，無（σy＝　　N／mm²）

3．診断結果　（Is2またはIs3、qまたはqStを＊欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	補強前				補強後			
	Isx	q*	Isy	q*	Isx	q*	Isy	q*
5F	0.93	1.14	2.86	10.61	0.90	1.11	2.77	10.28
4F	0.51	1.92	1.57	5.82	0.62	2.33	1.49	5.53
3F	0.39	1.46	1.19	4.42	0.61	2.29	1.10	4.08
2F	0.31	0.98	0.94	3.52	0.62	2.03	0.85	3.17
1F	0.39	1.48	0.93	3.46	0.69	2.58	0.82	3.06
最小値	0.31	0.98	0.93	3.46	0.61	1.11	0.82	3.06

（調査および診断に関する所見）
目標値：Iso-0.60、q-1.00、CTU・SD-0.30

けた行(X)方向：５階は、全ての部材が曲げ破壊となり、耐力・靭性値とも高く、所要の耐震性能を満足している。４～２階は、曲げ破壊となる部材が過半であるが、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。１階は、せん断破壊となる部材が多く、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。
はり間(Y)方向：各階とも、耐震要素となる壁の耐力が大きく、所要の耐震性能を満足している。

4．補強計画　（補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他
5F												
4F												1
3F												3
2F												5
1F												7
合　計												16

（補強に関する所見）
目標値：Iso=0.60、q=1.00、CTU・SD=0.30

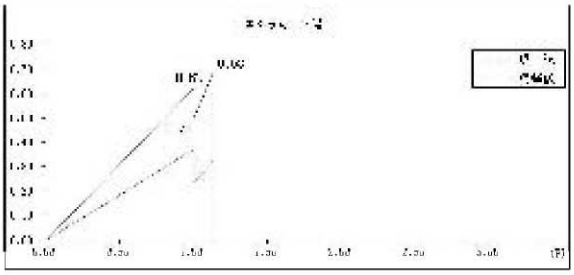
けた行(X)方向：ＰＣａ外フレーム工法増設により、保有水平耐力が向上し、所要の耐震性能を満足することができた。

はり間(Y)方向：けた行(X)方向の耐震補強による建物重量増大の影響も少なく、所要の耐震性能を維持している。

5．付図Ⅰ　（補強前後の代表階の①Ｃ－Ｆ関係、主要Ｃ値（ＲＣ造）、または、②ｑＳｔ－Ｆ値（Ｓ造）を下図に記入）

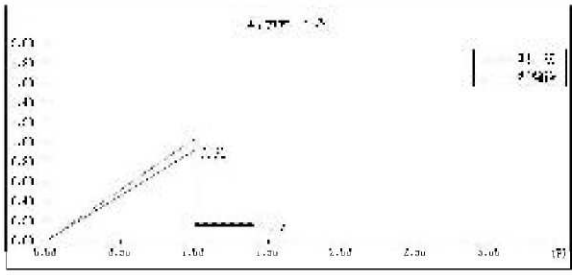
X方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



Y方向［　1　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



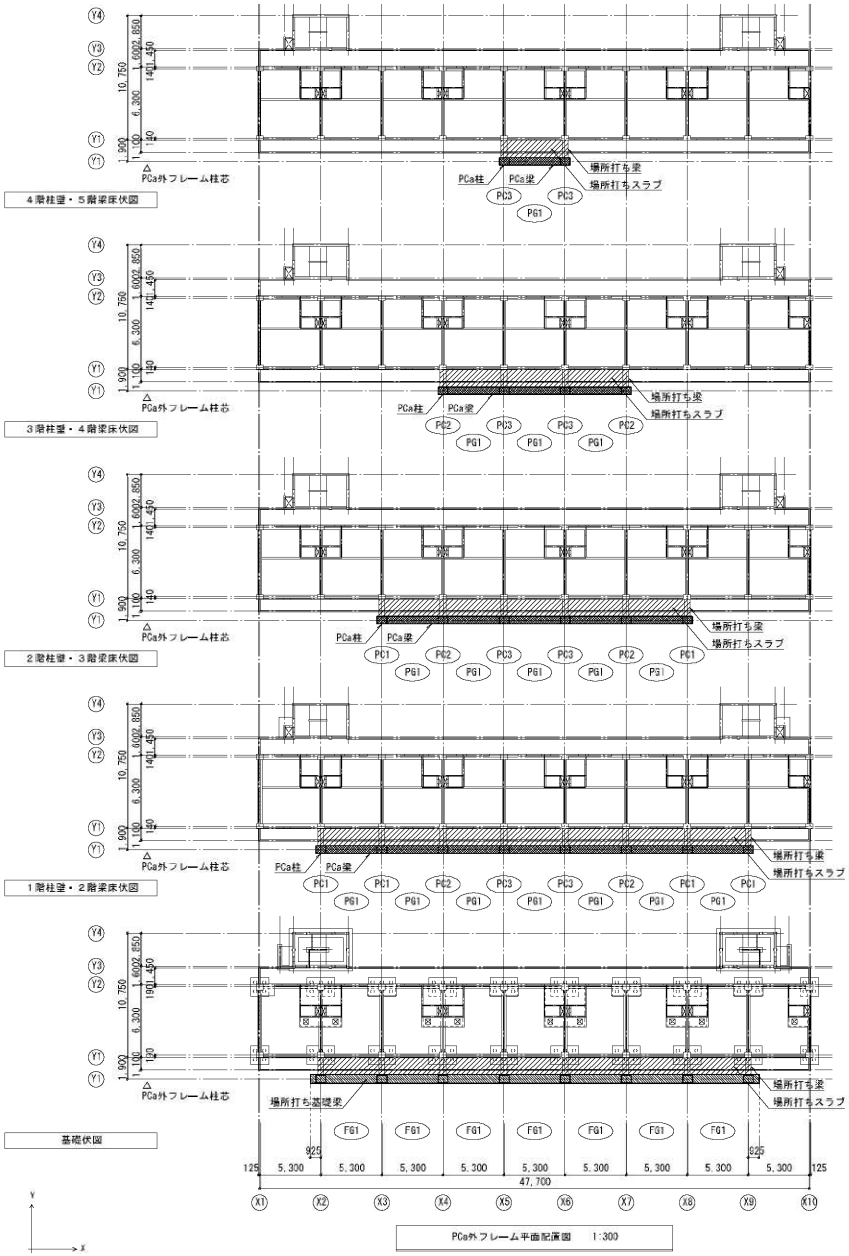
6．事務局使用欄

受付番号		受付年月日	
交付番号		交付年月日	

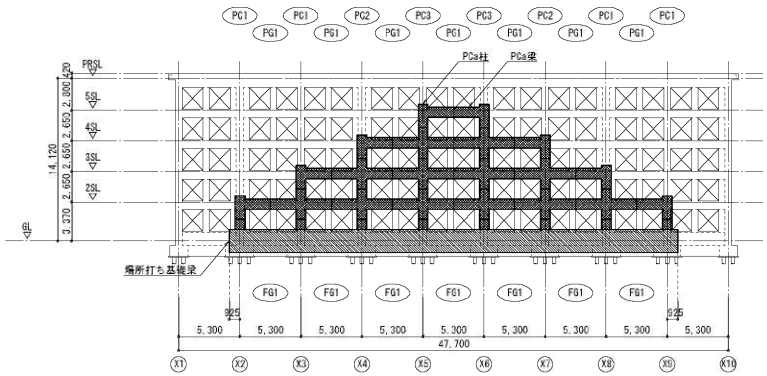
京都市西野山市営住宅11号棟

No.

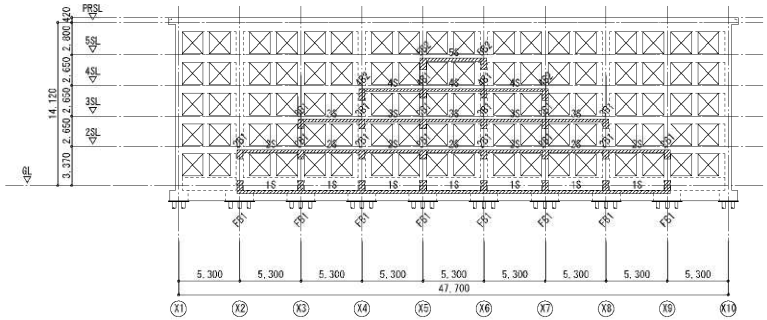
ＰＣａ外フレーム平面配置図・軸組図



PCa外フレーム平面配置図　1:300



PCa外フレームY1'通側軸組配置図　1:300



新段スラブ・壁・直交梁Y1通側軸組配置図　1:300

プレストレストコンクリート特記事項

1．コンクリート			
位　置	PCa部材	場所打ち部	目地部
設計基準強度	50 N/mm²	24 N/mm²	50 N/mm²
プレ導入時強度	36 N/mm²	20 N/mm²	20 N/mm²

2．PC鋼材		
位　置	PCa梁	PCa柱
使用鋼材	3-SWPR7BL φ15.2	SBPR1080/1230 φ32
施工緊張力	533 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	692 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
導入時許容緊張力	566 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	738 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
緊張方向	片引きとする	柱頭からの 片引き
備　考	－	－

11棟耐震改修計画案

①　建物耐震診断等概要表

1．建物概要	
申込み件名	1．耐震診断　2．耐震補強計画　(3) 総合判定（耐震診断・耐震補強計画）
施設設置者（申込者）	京都市　（　　）
施設名、棟名（棟番号）	西野山市営住宅１１棟
所在地	〒607－8231　京都市山科区勧修寺堂田１３番地１
区分、面積（対象面積）	校舎、屋体、寄宿、(その他)（　共同住宅　）、　2,206.25 ㎡（　2,206.25 ㎡）
建築年月、構造、階数	昭和４３年　、　鉄筋コンクリート造　、　地上５階建
基礎、地盤条件	杭基礎（　GL－8.30m～9.30m　，　支持力不明　）
構造上の特徴	平面（ほぼ整形）不整形）、立面（ほぼ整形）不整形） 構造形式（けた行(X)：ラーメン架構　、　はり間(Y)：耐震壁付ラーメン架構　） 極脆性柱（有、(無)　、下階壁抜（有、(無)　、平面柱抜（有、(無)　、ＰＣａ屋根（有、(無)

2．診断方法	
診断法（計算法）	(第２次診断)　第３次診断、屋体診断基準、応答解析、その他　（手計算、(電算機)
電算ソフト（作成者）	DOC-RC/SRC Ver.7　、(株)構造システム　日本建築防災協会評価(P評価11－改1－RC)
診断実施者（資格）	㈱三宅建築事務所　三宅晃郎　（一級建築士登録番号：第308903号）　受講番号：第01-14189号
連絡先住所（TEL/FAX）	〒606-8386　京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37-6　(TEL 075-761-6025 / FAX 075-751-0222)
診断実施年月	平成24年　6月　～　平成24年１０月
材料調査（診断使用値）	ｺﾝｸﾘｰﾄ　調査(有)　無（Fc＝ 17.3(1F)，22.5(2F)，22.5(3F)，22.5(4F)，21.2(5F)　N／mm²） 鉄筋　調査 有，(無)（σy＝ 294 N／mm²）　、　鉄骨　調査 有，無（σy＝　　N／mm²）

3．診断結果　（Is2またはIs3、qまたはqStを＊欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	補強前				補強後			
	Isx	q*	Isy	q*	Isx	q*	Isy	q*
5F	0.92	1.14	2.80	10.37	0.89	1.10	2.71	10.05
4F	0.52	1.95	1.61	5.97	0.63	2.36	1.52	5.66
3F	0.40	1.50	1.24	4.59	0.62	2.33	1.14	4.24
2F	0.33	1.02	0.98	3.67	0.64	2.07	0.89	3.32
1F	0.39	1.45	0.91	3.38	0.69	2.56	0.80	2.99
最小値	0.33	1.02	0.91	3.38	0.62	1.10	0.80	2.99

（調査および診断に関する所見）
目標値：Iso-0.60、q-1.00、CTU・SD-0.30

けた行(X)方向：５階は、全ての部材が曲げ破壊となり、耐力・靭性値とも高く、所要の耐震性能を満足している。４～２階は、曲げ破壊となる部材が過半であるが、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。１階は、せん断破壊となる部材が多く、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。
はり間(Y)方向：各階とも、耐震要素となる壁の耐力が大きく、所要の耐震性能を満足している。

4．補強計画　（補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他
5F												
4F												1
3F												3
2F												5
1F												7
合　計												16

（補強に関する所見）
目標値：Iso=0.60、q=1.00、CTU・SD=0.30

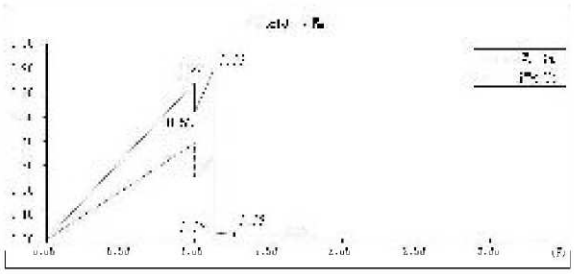
けた行(X)方向：ＰＣａ外フレーム工法増設により、保有水平耐力が向上し、所要の耐震性能を満足することができた。

はり間(Y)方向：けた行(X)方向の耐震補強による建物重量増大の影響も少なく、所要の耐震性能を維持している。

5．付図Ⅰ　（補強前後の代表階の①Ｃ－Ｆ関係、主要Ｃ値（ＲＣ造）、または、②ｑＳｔ－Ｆ値（Ｓ造）を下図に記入）

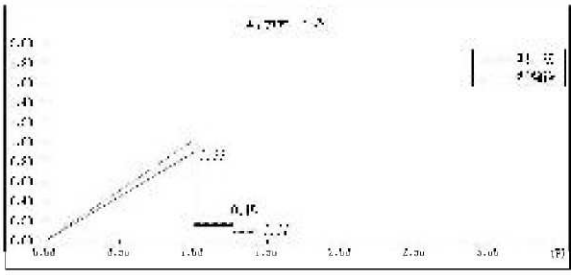
X方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



Y方向［　1　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



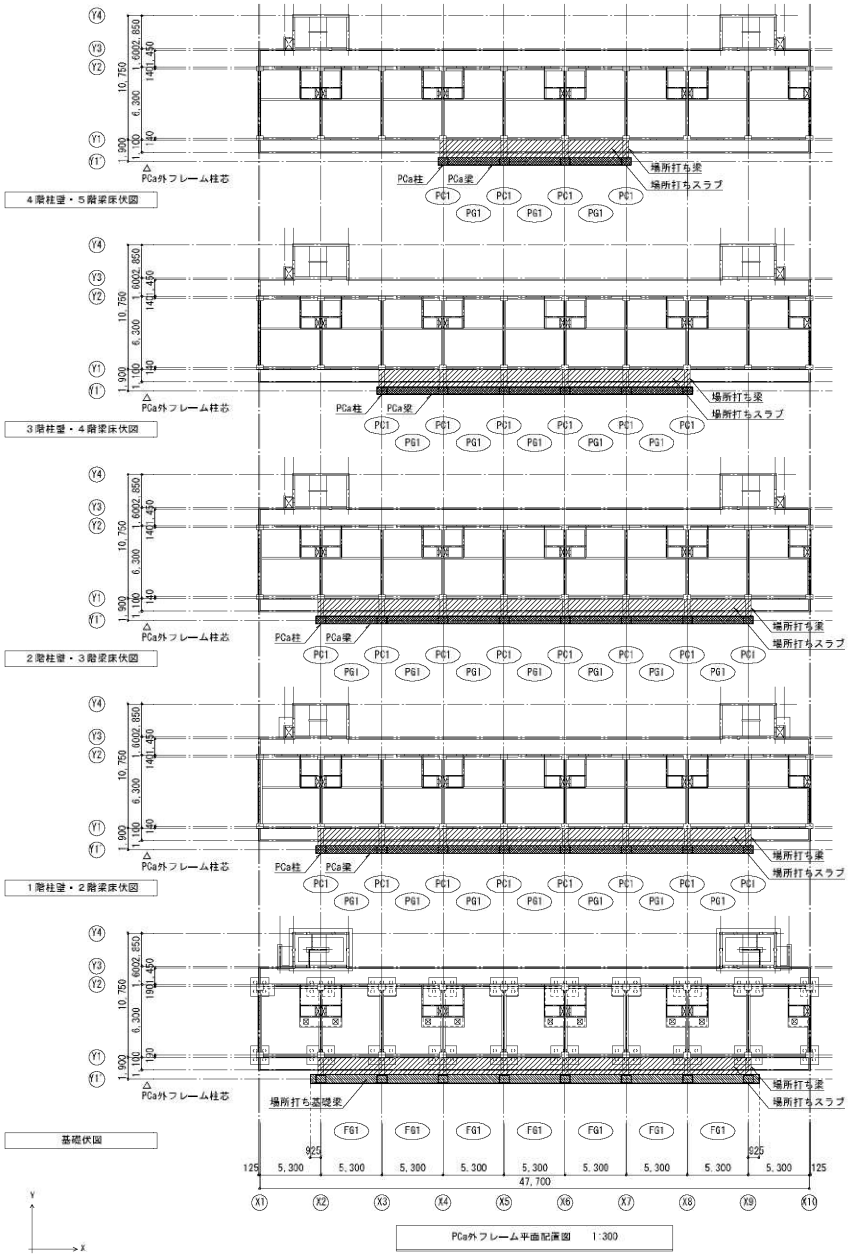
6．事務局使用欄

受付番号		受付年月日	
交付番号		交付年月日	

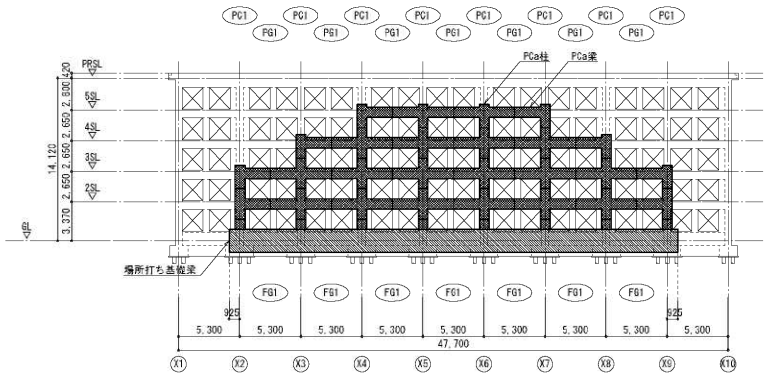
京都市西野山市営住宅12号棟

No.

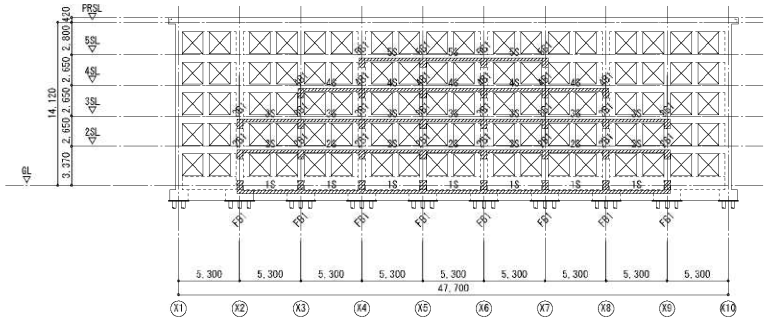
ＰＣａ外フレーム平面配置図・軸組図



PCa外フレーム平面配置図　1:300



PCa外フレームY1通側軸組配置図　1:300



新設スラブ・壁・直交梁Y1通側軸組配置図　1:300

プレストレストコンクリート特記事項

1．コンクリート			
位　置	PCa部材	場所打ち部	目地部
設計基準強度	50 N/mm²	24 N/mm²	50 N/mm²
プレ導入時強度	36 N/mm²	20 N/mm²	20 N/mm²

2．PC鋼材		
位　置	PCa梁	PCa柱
使用鋼材	3-SWPR7BL φ15.2	SBPR1080/1230 φ32
施工緊張力	533 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	692 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
導入時許容緊張力	566 kN / ｹｰﾌﾞﾙ	738 kN / ｹｰﾌﾞﾙ
緊張方向	片引きとする	柱頭からの 片引き
備　考	－	－

12棟耐震改修計画案

①　建物耐震診断等概要表

1．建物概要	
申込み件名	1．耐震診断　2．耐震補強計画　(3) 総合判定（耐震診断・耐震補強計画）
施設設置者（申込者）	京都市　（　　）
施設名、棟名（棟番号）	西野山市営住宅１２棟
所在地	〒607－8231　京都市山科区勧修寺堂田１３番地１
区分、面積（対象面積）	校舎、屋体、寄宿、(その他)（　共同住宅　）、　2,206.25 ㎡（　2,206.25 ㎡）
建築年月、構造、階数	昭和４４年　、　鉄筋コンクリート造　、　地上５階建
基礎、地盤条件	杭基礎（　GL－9.30m～10.30m　，　支持力不明　）
構造上の特徴	平面（ほぼ整形）、不整形）、立面（ほぼ整形）、不整形） 構造形式（けた行(X)：ラーメン架構　、　はり間(Y)：耐震壁付ラーメン架構　） 極脆性柱（有、(無)　、下階壁抜（有、(無)　、平面柱抜（有、(無)　、ＰＣａ屋根（有、(無)

2．診断方法	
診断法（計算法）	(第２次診断)、第３次診断、屋体診断基準、応答解析、その他　（手計算、(電算機)
電算ソフト（作成者）	DOC-RC/SRC Ver.7　、(株)構造システム　日本建築防災協会評価(P評価11－改1－RC)
診断実施者（資格）	㈱三宅建築事務所　三宅晃郎　（一級建築士登録番号：第308903号）　受講番号：第01-14189号
連絡先住所（TEL/FAX）	〒606-8386　京都市左京区仁王門通川端東入新丸太町37-6　(TEL 075-761-6025 / FAX 075-751-0222)
診断実施年月	平成24年　6月　～　平成24年１０月
材料調査（診断使用値）	ｺﾝｸﾘｰﾄ　調査(有)　無（Fc＝ 20.2(1F)，15.0(2F)，16.3(3F)，15.9(4F)，17.5(5F)　N／mm²） 鉄筋　調査 有，(無)（σy＝ 294 N／mm²）　、　鉄骨　調査 有，無（σy＝　　N／mm²）

3．診断結果　（Is2またはIs3、qまたはqStを＊欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	補強前				補強後			
	Isx	q*	Isy	q*	Isx	q*	Isy	q*
5F	0.91	1.12	2.61	9.69	0.87	1.08	2.50	9.29
4F	0.48	1.79	1.42	5.29	0.70	2.63	1.30	4.83
3F	0.35	1.11	1.11	4.13	0.64	2.05	0.98	3.64
2F	0.30	1.13	0.90	3.34	0.63	2.35	0.77	2.87
1F	0.40	1.51	0.95	3.52	0.68	2.53	0.80	3.00
最小値	0.30	1.11	0.90	3.34	0.63	1.08	0.77	2.87

（調査および診断に関する所見）

目標値：Iso-0.60、q-1.00、CTU・SD-0.30

けた行(X)方向：５階は、全ての部材が曲げ破壊となり、耐力・靭性値とも高く、所要の耐震性能を満足している。４～２階は、曲げ破壊となる部材が過半であるが、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。１階は、せん断破壊となる部材が多く、耐力・靭性値とも低く、所要の耐震性能を満足していない。

はり間(Y)方向：各階とも、耐震要素となる壁の耐力が大きく、所要の耐震性能を満足している。

4．補強計画　（補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入）

	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他
5F												
4F												3
3F												5
2F												7
1F												7
合　計												22

（補強に関する所見）

目標値：Iso=0.60、q=1.00、CTU・SD=0.30

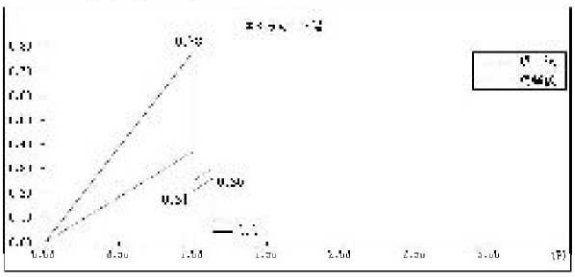
けた行(X)方向：ＰＣａ外フレーム工法増設により、保有水平耐力が向上し、所要の耐震性能を満足することができた。

はり間(Y)方向：けた行(X)方向の耐震補強による建物重量増大の影響も少なく、所要の耐震性能を維持している。

5．付図Ⅰ　（補強前後の代表階の①Ｃ－Ｆ関係、主要Ｃ値（ＲＣ造）、または、②ｑＳｔ－Ｆ値（Ｓ造）を下図に記入）

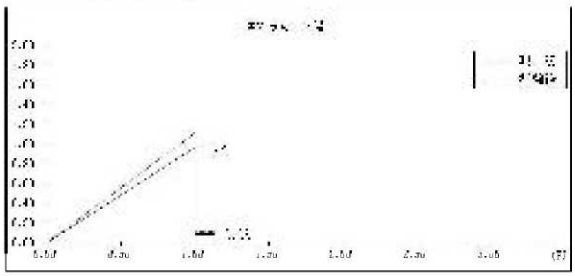
X方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



Y方向［　2　階］

Ｃ値、~~ｑＳｔ値~~



6．事務局使用欄

受付番号		受付年月日	
交付番号		交付年月日	

別紙第４

エレベーター棟増築その他工事基本設計図書

記事	設計	設計変更 No. 枚の内	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし，４棟ほか５棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 1 80 枚の内
		平成　年　月	表紙	縮尺 － 平成２５年　３月
	１級建築士登録　第　号	課長　課長補佐・係長　係員	企画設計課	課長　課長補佐・係長　係員

基本設計図書

平成２５年　３月

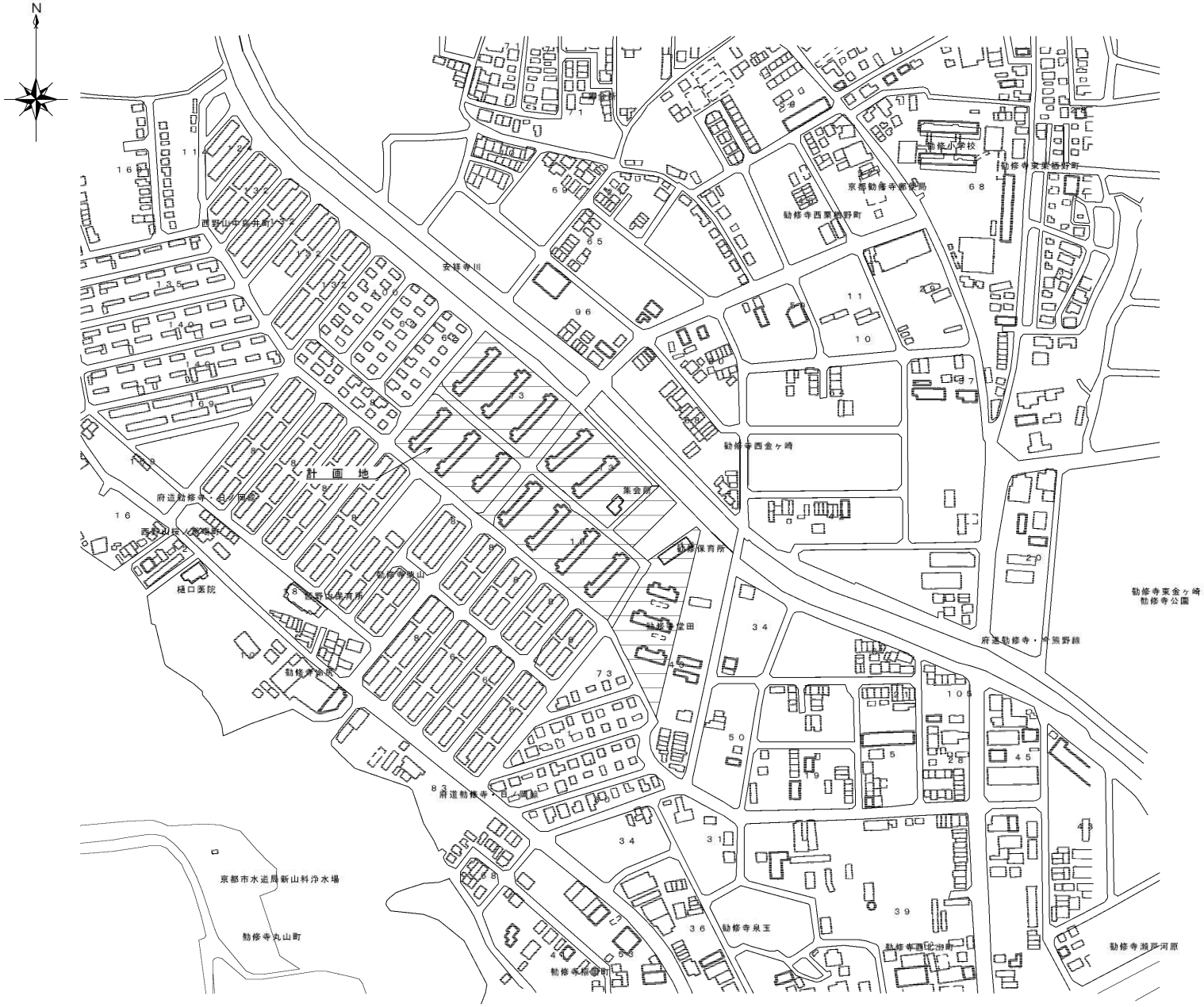
0　5　10　1/100
1/200

基本設計図書

番号	図面名称	番号	図面名称	番号	図面名称	番号	図面名称
1	表紙	26	8棟　増築後配管図	50	6棟　現況断面図	75	12棟　現況２～５階平面図
2	図面リスト	27	11棟　増築後配置図兼１階平面図	51	6棟　現況電気配線図	76	12棟　現況屋根伏図
3	附近見取図	28	11棟　増築後２～５階平面図	52	6棟　現況配管図	77	12棟　現況立面図
4	整備基本方針	29	11棟　増築後屋根伏図	53	7棟　現況配置図兼１階平面図	78	12棟　現況断面図
5	計画諸元表	30	11棟　増築後電気配線図	54	7棟　現況２～５階平面図	79	12棟　現況電気配線図
6	増築後全体配置図	31	11棟　増築後配管図	55	7棟　現況屋根伏図	80	12棟　現況配管図
7	4棟　増築後配置図兼１階平面図	32	12棟　増築後配置図兼１階平面図	56	7棟　現況立面図		
8	4棟　増築後２～５階平面図	33	12棟　増築後２～５階平面図	57	7棟　現況断面図		
9	4棟　増築後屋根伏図	34	12棟　増築後屋根伏図	58	7棟　現況電気配線図		
10	4棟　増築後電気配線図	35	12棟　増築後電気配線図	59	7棟　現況配管図		
11	4棟　増築後配管図	36	12棟　増築後配管図	60	8棟　現況配置図兼１階平面図		
12	6棟　増築後配置図兼１階平面図	37	各棟　増築後立面図・断面図	61	8棟　現況２～５階平面図		
13	6棟　増築後２～５階平面図		以下参考資料	62	8棟　現況屋根伏図		
14	6棟　増築後屋根伏図	38	現況全体配置図	63	8棟　現況立面図		
15	6棟　増築後電気配線図	39	4棟　現況配置図兼１階平面図	64	8棟　現況断面図		
16	6棟　増築後配管図	40	4棟　現況２～５階平面図	65	8棟　現況電気配線図		
17	7棟　増築後配置図兼１階平面図	41	4棟　現況屋根伏図	66	8棟　現況配管図		
18	7棟　増築後２～５階平面図	42	4棟　現況立面図	67	11棟　現況配置図兼１階平面図		
19	7棟　増築後屋根伏図	43	4棟　現況断面図	68	11棟　現況２～５階平面図		
20	7棟　増築後電気配線図	44	4棟　現況電気配線図	69	11棟　現況屋根伏図		
21	7棟　増築後配管図	45	4棟　現況配管図	70	11棟　現況立面図		
22	8棟　増築後配置図兼１階平面図	46	6棟　現況配置図兼１階平面図	71	11棟　現況断面図		
23	8棟　増築後２～５階平面図	47	6棟　現況２～５階平面図	72	11棟　現況電気配線図		
24	8棟　増築後屋根伏図	48	6棟　現況屋根伏図	73	11棟　現況配管図		
25	8棟　増築後電気配線図	49	6棟　現況立面図	74	12棟　現況配置図兼１階平面図		

0 5 10 1/100
0 10 20 30 1/200

記事	設計	設計変更 No. 枚の内	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし、4棟ほか5棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 3 80 枚の内
		平成 年 月	附近見取図	縮尺 1／2500 平成２５年 3月
	1級建築士登録 第 号	課長 課長補佐・係長 係員	企画設計課	課長 課長補佐・係長 係員



■敷地概要

□所在地　京都市山科区勧修寺堂田13番地ほか

□敷地面積

（建築基準法86条一団地）　32,100.130 ㎡

■都市計画等の状況

□用途地域　第一種中高層住居専用地域

□容積率　200%

□建ぺい率　60%

□高度地区　15m第1種高度地区

□防火地域　準防火地域

□景観地区　山ろく型建造物修景地区

③伏見・山科地区

□日影規制　5m 4時間, 10m 2.5時間

0 5 10 1/100
0 10 20 1/200

■計画の基本方針

□市営住宅ストックの長期にわたる活用及び高齢者等が安全で快適に生活できる居住空間の実現を目標とし，西野山市営住宅４，６，７，８，１１及び１２棟において，バリアフリー化を目的としたエレベーター棟及びスロープの設置，並びにそれに伴う外構整備工事を行う。

■配置計画

□エレベーター棟
- 現状の団地内の通路幅員の確保のため，通路境界線を越えないように計画する。
- 団地内建物（既存自転車置場）及び通路の状況から住棟中央に配置する。
- エレベーター棟は開放廊下として既存棟に接続する。
- 建築基準法第86条の7（既存建物に対する制限の緩和）を適用するために，増築に係る延床面積が50㎡以下かつ既存部分の延床面積の1/20以下，エキスパンションジョイントによる別構造となるように計画する。

□スロープ
- エレベーターへの動線に配慮した計画する。
- 京都市バリアフリー条例の基準1/15勾配を満たす仕様とする。
- 建物側の上部に落下防止庇（アルミ製）を設置する。

□消防活動空地
- 住棟南面のバルコニー側に，消防活動空地を整備する。

□その他
- 道路からエレベーター及びスロープまでの段差解消等，通路のバリアフリーについても計画を行う。
- エレベーター増築，スロープ新設及び消防活動空地の整備における植栽及び遊具の撤去において，植栽及び遊具の新設は最小限の範囲とする。

■設備計画

- 入居者が利用しながらの工事となるので、電気，給排水，ガス等のインフラ設備の遮断を極力避ける計画とする。

□電気設備
- 電灯回路は既存分電盤より，動力回路は最寄電柱よりそれぞれ配線を行う。

□機械設備
- 増築ＥＶ棟，スロープ新設及び消防進入路の整備に干渉する埋設配管は撤去し、迂回する。

■設計上の課題及び解決方法の検討

□建築
- ７棟及び８棟については，ＥＶ棟を計画している位置に自転車置場が設置されているため，自転車置場の撤去及び新設が必要となる。
- 各棟について，消防活動空地を計画している位置に植栽等があるため，撤去が必要となる。

□電気設備
- 外灯及び架空線がエレベーター棟設置工事と干渉するため，電線の撤去，復旧が必要となる。

□機械設備
- ４棟以外については，スロープを計画している位置にガス配管が埋設されているため，切回しが必要となる。
- 消防活動空地を確保するために，４及び８棟については，埋設給水管（７５Ａ）を切回す必要がある。

■建築物概要

□エレベーター棟

	４，６，７，８，１１，１２棟
構造	鉄骨ラーメン構造
階数	５階
建築面積(㎡)	10.06㎡
延床面積(㎡)	42.50㎡
最高高さ(m)	15,405mm
耐火種別	耐火建築物
仕上げ	屋根：ガルバリウム鋼板瓦棒葺き 外壁：ＡＬＣ板ｔ１００の上，防水型複層塗材Ｅ 床：デッキプレート下地合成樹脂塗床

□意匠上の配慮：勾配屋根，既存建物の外観に合わせた色彩

□障害物：埋設配管（雨水，ガス，給水本管），外灯及び架空配線

□解体撤去：エレベーター棟接続部の廊下手摺撤去
エレベーター棟及びスロープ設置に伴う埋設配管の撤去
消防活動空地の整備に伴う植栽，遊具及び埋設給水本管の撤去
自転車置場の撤去（７，８棟のみ）

□仮設計画：工事中の入居者の安全円滑な移動に配慮し，工事区域を区画する。

□エレベーター：住宅用機械室レスロープ方式，可変電圧可変周波数制御方式，乗合全自動方式
４人乗りトランク付き，最大積載荷重３２０ｋｇ
停止箇所５箇所（各階），速度４５ｍ／分
１階乗場に警報ベル，カゴ内通話用インターホンを設置する。
カゴ内に警報押しボタンを設置する。
停電時の自動着床装置，地震時，火災時の管制運転装置を設ける。
耐震クラスはＡとする。

■計画諸元表

		敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
４棟	共同住宅（４棟）	1,950.00㎡	ＲＣ造 ５階建	460.10㎡	26.98%	2,256.75㎡	2,256.75㎡	115.73%
	自転車置場	－	Ｓ造 平屋建	66.00㎡		66.00㎡	－	
	増築ＥＶ棟	－	Ｓ造 ５階建	10.06㎡		42.50㎡	42.50㎡	－
	計	1,950.00㎡	－	536.16㎡	27.50%	2,365.25㎡	2,299.25㎡	117.91%

		敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
６棟	共同住宅（６棟）	2,581.40㎡	ＲＣ造 ５階建	511.23㎡	22.87%	2,206.25㎡	2,206.25㎡	85.47%
	自転車置場	－	Ｓ造 平屋建	79.20㎡		79.20㎡	－	
	増築ＥＶ棟	－	Ｓ造 ５階建	10.06㎡		42.50㎡	42.50㎡	－
	計	2,581.40㎡	－	600.49㎡	23.26%	2,327.95㎡	2,248.75㎡	87.11%

		敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
７棟	共同住宅（７棟）	1,765.38㎡	ＲＣ造 ５階建	425.76㎡	27.86%	1,999.06㎡	1,999.06㎡	113.24%
	自転車置場	－	Ｓ造 平屋建	66.00㎡		66.00㎡	－	
	増築ＥＶ棟	－	Ｓ造 ５階建	10.06㎡		42.50㎡	42.50㎡	－
	計	1,765.38㎡	－	501.82㎡	28.43%	2,107.56㎡	2,041.56㎡	115.64%

		敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
８棟	共同住宅（８棟）	2,037.89㎡	ＲＣ造 ５階建	425.68㎡	24.13%	1,999.06㎡	1,999.06㎡	98.10%
	自転車置場	－	Ｓ造 平屋建	66.00㎡		66.00㎡	－	
	増築ＥＶ棟	－	Ｓ造 ５階建	10.06㎡		42.50㎡	42.50㎡	－
	計	2,037.89㎡	－	501.74㎡	24.62%	2,107.56㎡	2,041.56㎡	100.18%

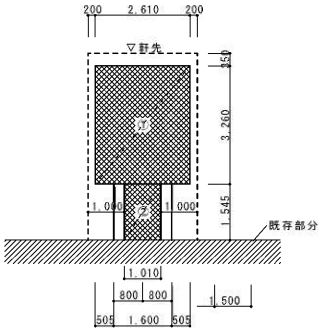
		敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
１１棟	共同住宅（１１棟）	1,897.87㎡	ＲＣ造 ５階建	425.76㎡	25.91%	1,999.06㎡	1,999.06㎡	105.33%
	自転車置場	－	Ｓ造 平屋建	66.00㎡		66.00㎡	－	
	増築ＥＶ棟	－	Ｓ造 ５階建	10.06㎡		42.50㎡	42.50㎡	－
	計	1,897.87㎡	－	501.82㎡	26.44%	2,107.56㎡	2,041.56㎡	107.57%

		敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
１２棟	共同住宅（１２棟）	2,090.23㎡	ＲＣ造 ５階建	425.76㎡	23.53%	2,000.89㎡	2,000.89㎡	95.73%
	自転車置場	－	Ｓ造 平屋建	66.00㎡		66.00㎡	－	
	増築ＥＶ棟	－	Ｓ造 ５階建	10.06㎡		42.50㎡	42.50㎡	－
	計	2,090.23㎡	－	501.82㎡	24.01%	2,109.39㎡	2,043.39㎡	97.76%

合計（８６敷地全体）	敷地面積	構造・規模	建築面積	建ぺい率	延床面積	容積率算定用床面積	容積率
	32,100.23㎡	－	7,483.83㎡	23.31%	29,692.09㎡	28,589.49㎡	89.06%

※諸元については平成１６年５月６日認定の８６条認定申請書による。

■面積算定



符号	建築面積 計算式		延床面積 計算式	
①	2.61 × 3.26	8.5086㎡	2.61 × 3.26	8.5086㎡
②	1.01 × 1.545	1.5604㎡	(1F当り床面積)	8.50㎡
計		10.06㎡	8.50 × 5F	42.50㎡

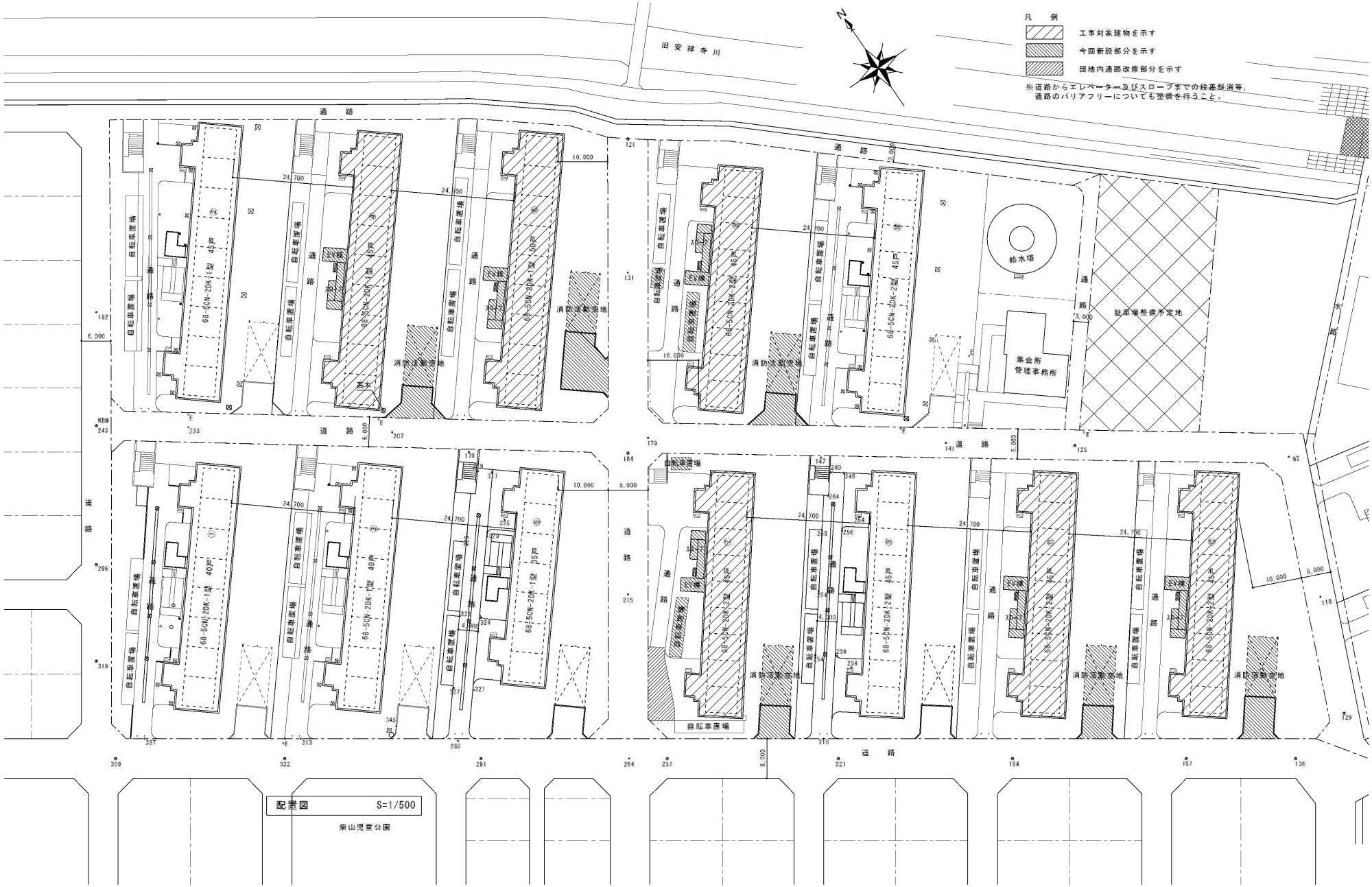
0 5 10 1/100 1/200

記事	設計	設計変更 No. ( ) 枚の内	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし、4棟ほか5棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 6 (80) 枚の内
		平成 年 月	増築後全体配置図	縮尺 1／500　平成25年 3月
	1級建築士登録 第 号	課長 課長補佐・係長 係員	企画設計課	課長 課長補佐・係長 係員

凡例

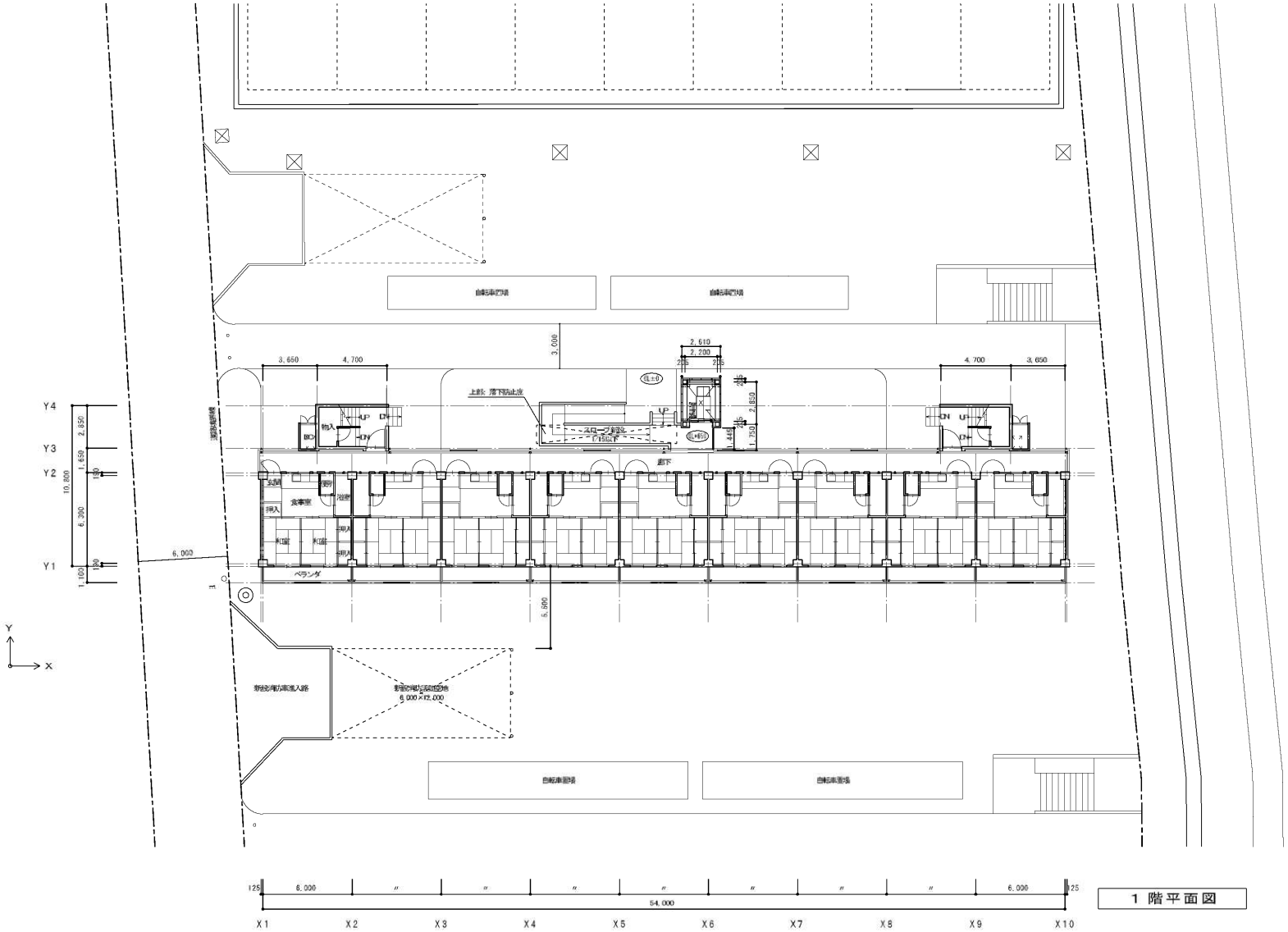
- 工事対象建物を示す
- 今回新設部分を示す
- 団地内通路改修部分を示す

※道路からエレベーター及びスロープまでの段差解消等、道路のバリアフリーについても整備を行うこと。



配置図 S=1/500

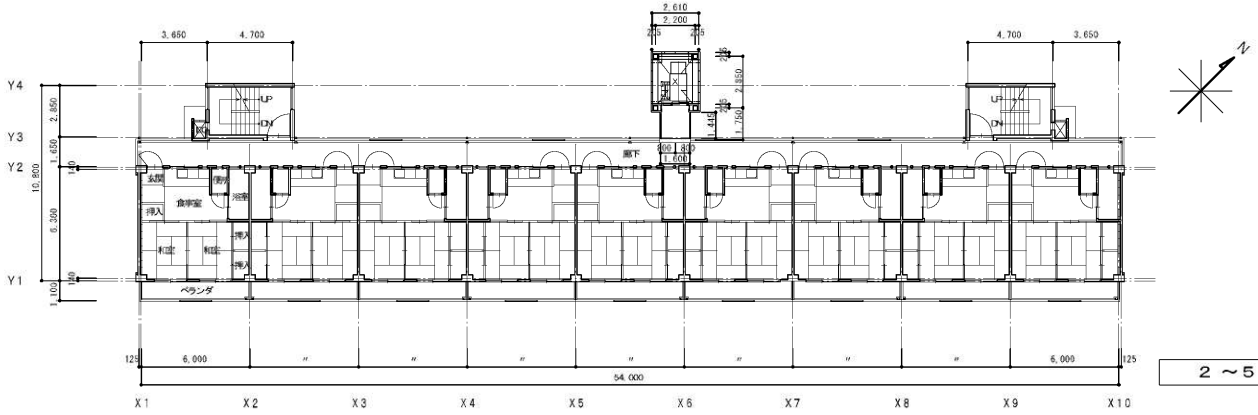
記事	設計	設計変更 No. 枚の内	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし、４棟ほか５棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 7 80 枚の内
		平成 年 月	４棟 増築後配置図兼１階平面図	縮尺 1／200 平成２５年 ３月
	１級建築士登録 第 号	課長 課長補佐・係長	企画設計課 課長 課長補佐・係長 係員	



１階平面図

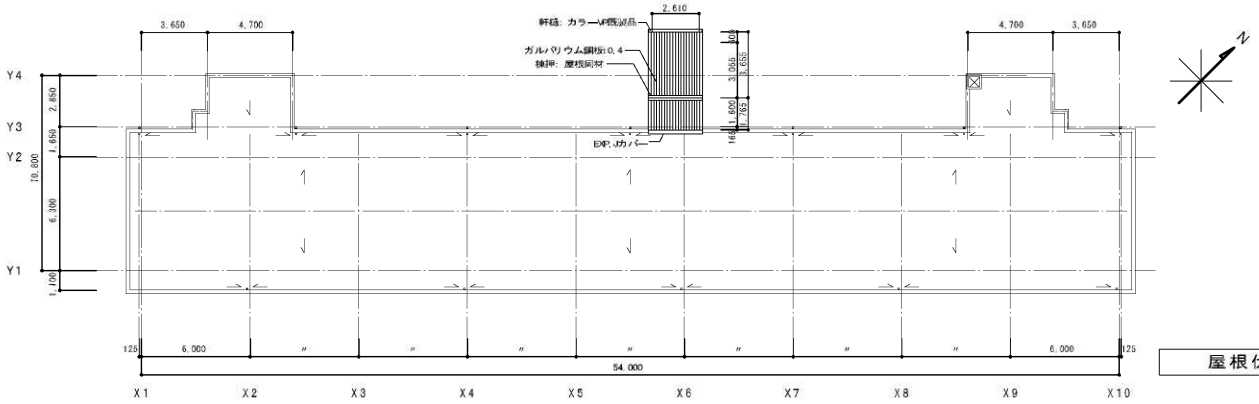
0 5 10 1/100
0 10 20 1/200
0 10 20 1/300

記事	設計	設計変更 No. ( ) 枚の内	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし，４棟ほか５棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 8 (80) 枚の内
		平成　年　月	４棟　増築後２～５階平面図	縮尺 1／200　平成２５年　３月
	１級建築士登録　第　号	課長　課長補佐・係長　係員	企画設計課　課長　課長補佐・係長　係員	



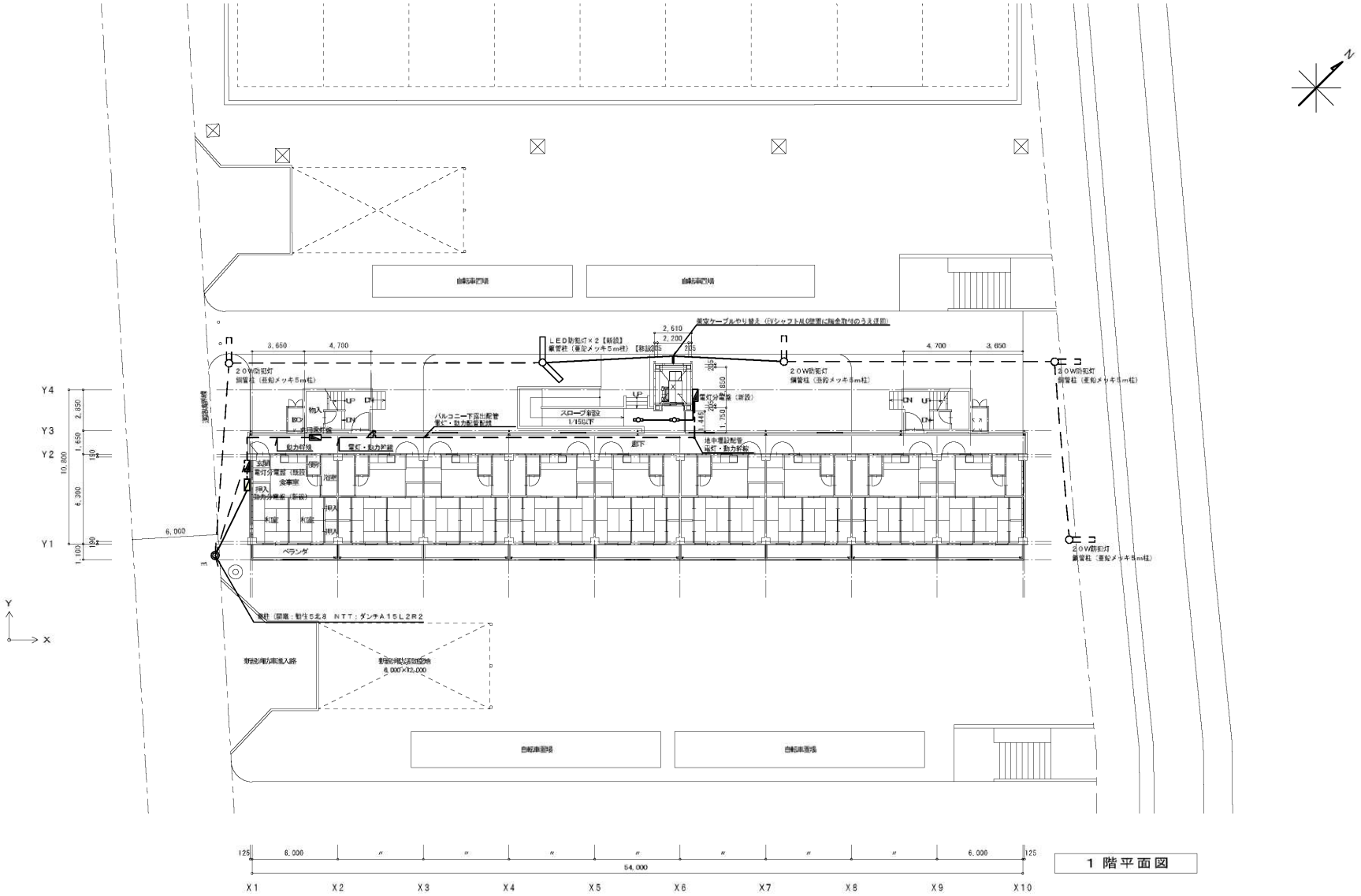
２～５階平面図

記事	設計	設計変更 No. 枚の内	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし、４棟ほか５棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 9 80 枚の内
		平成 年 月	４棟 増築後屋根伏図	縮尺 1／200 平成２５年 ３月
	１級建築士登録 第 号	課長 課長補佐・係長 係員	企画設計課 課長 課長補佐・係長 係員	



屋根伏図

記事	設計	設計変更 No. （　枚の内）	京都市西野山市営住宅増築工事 ただし、４棟ほか５棟エレベーター棟増築工事	設計図 No. 10 （80 枚の内）
		平成　年　月	４棟　増築後電気配線図	縮尺 1／200　平成２５年　３月
	１級建築士登録　第　号	課長　課長補佐・係長	企画設計課　課長　課長補佐・係長　係員	



１階平面図

0　5　10　1/100
0　10　20　1/200
0　10　20　30　1/300